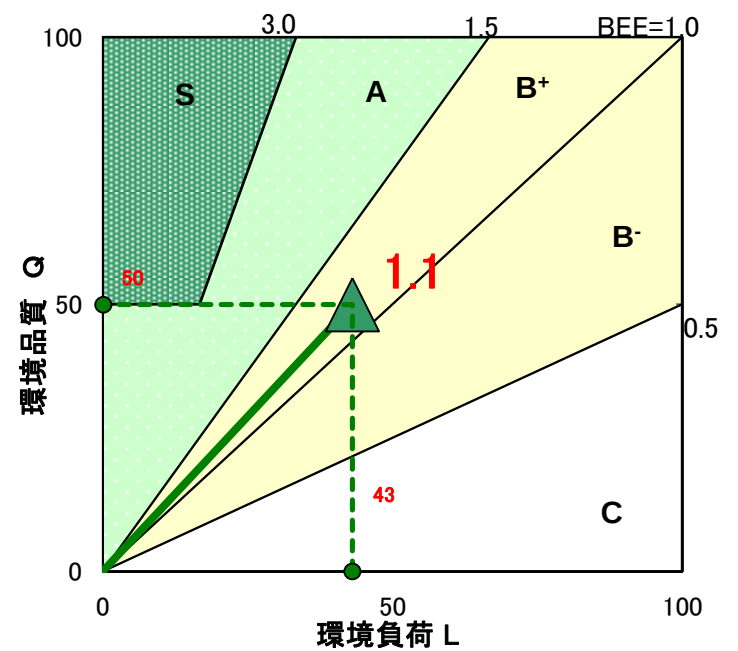


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観
建物名称	(仮称)新大江3丁目マンション	階数	地上7F	
建設地	熊本県熊本市中央区新大江3丁目	構造	RC造	
用途地域	第2種中高層住居専用地域	平均居住人員	138 人	
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2013年12月18日	
敷地面積	2,399 m ²	作成者	安堂 文人	
建築面積	883 m ²	確認日	2013年12月18日	
延床面積	3,778 m ²	確認者	安堂 文人	

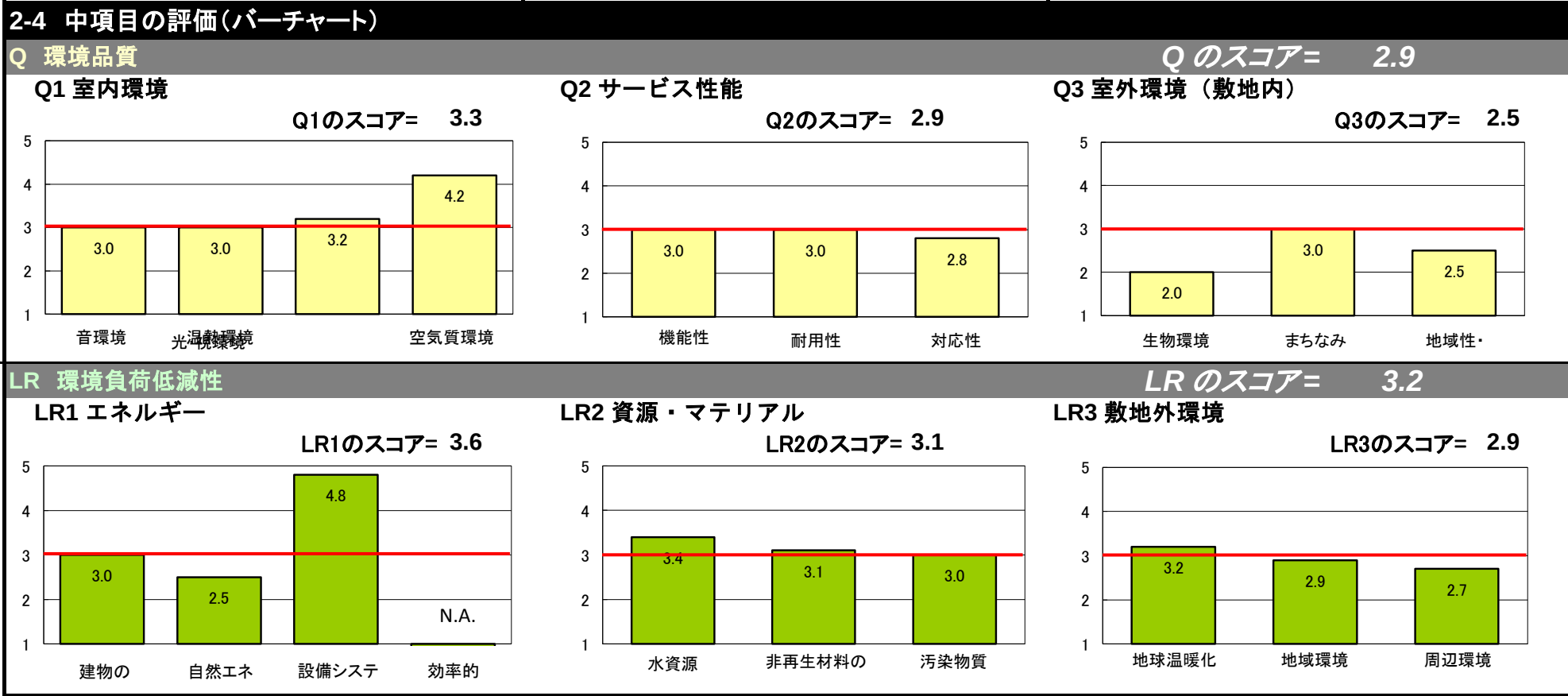
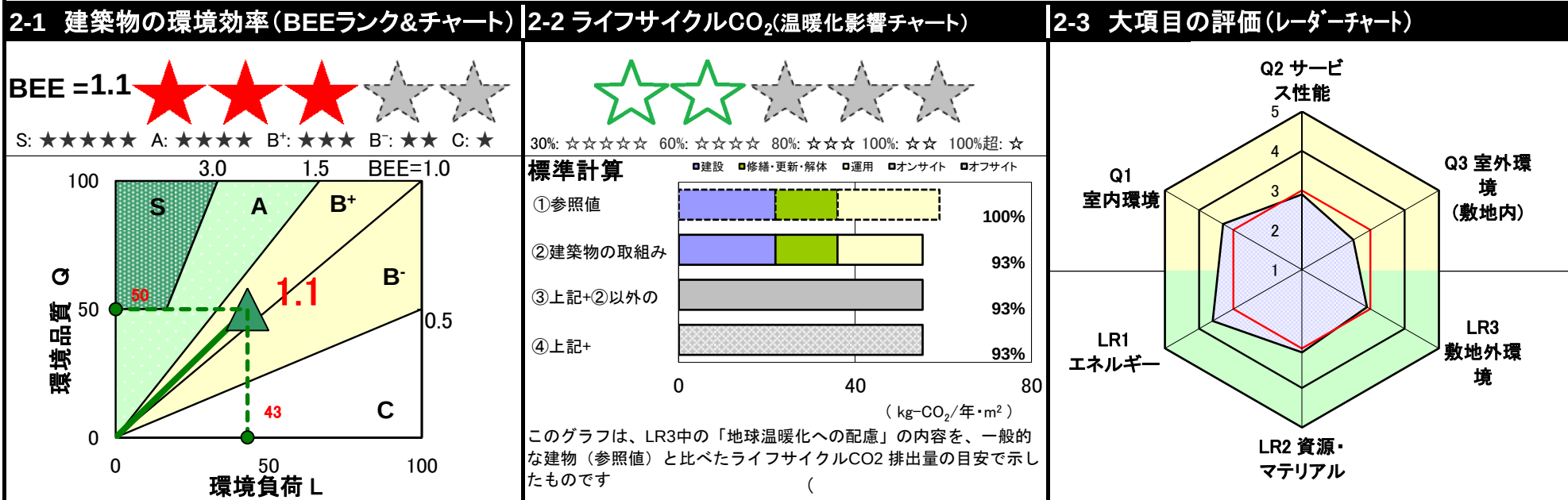
1 CASBEE評価結果																																																
■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)																																																
		BEE = 1.1 ■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$																																														
		■環境効率評価基準 <table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table> ■ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準 <table><tr><th>判定値(排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>☆☆☆☆☆</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>☆☆☆☆</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>☆☆☆</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>☆☆</td></tr><tr><td>100%超</td><td>☆</td></tr></table>			ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—	判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆
ランク	ランク表示	評価	判定値																																													
			BEE値	Q値																																												
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																																												
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																																												
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																																												
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																																												
C	★	劣る	0.5未満	—																																												
判定値(排出率)	ランク表示																																															
30%以下	☆☆☆☆☆																																															
30%超60%以下	☆☆☆☆																																															
60%超80%以下	☆☆☆																																															
80%超100%以下	☆☆																																															
100%超	☆																																															
■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能(ランク表示)		排出率																																														
		93%																																														

2 熊本県重点評価結果				
■ 重点事項総合評価				評価点
				79
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進		評価点	■熊本県重点評価基準	
		83.5	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現		68.7	100点以上	
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全		82.5	80点以上100点未満	
【重点事項4】 循環型社会の実現		78.7	60点以上80点未満	
			40点以上60点未満	
			40点未満	
※評価点は、100点以上が推奨です。				

CASBEE®熊本《新築》【評価結果】

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築（簡易版）2010年版 ■使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010(v.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)新大江3丁目マンション	階数	地上7F
建設地	熊本県熊本市中央区新大江3丁目1	構造	RC造
用途地域	第2種中高層住居専用地域	平均居住人員	138 人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2013年12月18日
敷地面積	2,399 m ²	作成者	安堂 文人
建築面積	883 m ²	確認日	2013年12月18日
延床面積	3,778 m ²	確認者	安堂 文人



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
(仮称)新大江3丁目マンション

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年版
■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.3)

スコアシート		実施設計段階									
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体			
				評価点	重み係数	評価点	重み係数				
Q 建築物の環境品質								2.9			
Q1 室内環境					0.40			3.3			
1 音環境				3.0	0.15	3.0	1.00	3.0			
1.1 騒音				3.0	0.50	3.0	0.50				
1 室内騒音レベル				3.0	1.00	3.0	0.50				
2 設備騒音対策				-	-	3.0	0.50				
1.2 遮音				3.0	0.50	3.0	0.50				
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30				
2 界壁遮音性能				3.0	-	3.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20				
1.3 吸音				3.0	-	3.0	-				
2 温熱環境						3.0	0.35		3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50				
1 室温				3.0	0.63	3.0	0.63				
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-				
3 外皮性能				3.0	0.38	3.0	0.38				
4 ゾーン別制御性				-	-	-	-				
5 温度・湿度制御				-	-	-	-				
6 個別制御				-	-	-	-				
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-				
8 監視システム				-	-	-	-				
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20				
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30				
3 光・視環境						2.7	0.25		3.3	1.00	3.2
3.1 屋光利用						3.0	0.30		4.0	0.30	
1 屋光率						3.0	0.60		5.0	0.50	
2 方位別開口						-	-		3.0	0.30	
3 屋光利用設備		3.0	0.40			3.0	0.20				
3.2 グレア対策		2.0	0.30			3.0	0.30				
1 照明器具のグレア		-	-			-	-				
2 屋光制御		2.0	1.00			3.0	1.00				
3 映り込み対策		-	-			-	-				
3.3 照度		3.0	0.15			3.0	0.15				
3.4 照明制御		3.0	0.25			3.0	0.25				
4 空気質環境				4.2	0.25	4.2	1.00	4.2			
4.1 発生源対策		建築材料をほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用している。		5.0	0.60	5.0	0.63				
1 化学汚染物質				5.0	1.00	5.0	1.00				
2 アスベスト対策				-	-	-	-				
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-				
4 レジオネラ対策				-	-	-	-				
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38				
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33				
2 自然換気性能				3.0	-	3.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33				
4 給気計画				-	-	-	-				
4.3 運用管理				-	-	-	-				
1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-				
2 喫煙の制御				3.0	-	-	-				
Q2 サービス性能						-	0.30		-	-	2.9
1 機能性						3.0	0.40		3.0	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60				
1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	-				
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	1.00				
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-				
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.0	0.40				
1 広さ感・景観				3.0	-	3.0	0.50				
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-				
3 内装計画				3.0	1.00	3.0	0.50				
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-				
3 衛生管理業務				-	-	-	-				
2 耐用性・信頼性						3.0	0.31		-	-	3.0
2.1 耐震・免震						3.0	0.48		-	-	
1 耐震性						3.0	0.80		-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20			-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33			-	-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23			-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23			-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09			-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08			-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15			-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23			-	-				

2.3 適切な更新				-	-	-	-	
	2.4 信頼性			3.0	0.19	-	-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.0	0.29	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり				-	-	2.6	0.50	
	1	階高のゆとり		3.0	-	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ		3.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.6
1 建物の熱負荷抑制				3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用				2.5	0.20	-	-	2.5
	2.1 自然エネルギーの直接利用			2.0	0.50	-	-	
	2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			住戸専用部には潜熱回収型給湯器を採用した。	4.8	0.40	-	-	4.8
	集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		#VALUE!	5.0		-	-	
	集合住宅の評価			4.8		-	-	
4 効率的運用				-	-	-	-	-
	4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
	4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護				3.4	0.15	-	-	3.4
	1.1 節水		節水コメ、及び節水型便器を採用した。	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.1	0.63	-	-	3.1
	2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		床下地:パーティクルボード 和室:畳	4.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.05	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮			接着剤等有害物質を含まない材料を使用している。	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮				2.9	0.33	-	-	2.9
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	污水处理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				2.7	0.33	-	-	2.7
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	0.33	-	-	
	2	振動		3.0	0.33	-	-	
	3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制			1.6	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	過剰な照明は避け、必要以上に外部照明を設けることは避けた。	5.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

外壁は落ち着いた印象の外観とし、まちなみと調和がとれるように努めた。

Q1 室内環境

建築材料はほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用している。

Q2 サービス性能

躯体材料は品確法の劣化等級2相当としている。

Q3 室外環境（敷地内）

住戸数分の駐車場を確保した。
自転車置場は利便性を考慮し、ピロティに設け雨天でも利用しやすいものとし、
庇付のサブエントランスを近くに設けた。

LR1 エネルギー

照明器具は省エネ効果が高いLED照明を採用した。

LR2 資源・マテリアル

節水型便器を採用している。
接着剤等有害物質を含まない材料を使用している。

LR3 敷地外環境

建設・運用でCO2排出量を抑えている。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)新大江3丁目マンション

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v1.3)_kmt2011(v1.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2011年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		79.4
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				83.5	0.40	33.40
Q1-2.1.3	外皮性能	3.0	0.15			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.00			
Q1-3.2.2	昼光制御	2.0	0.00			
LR1-1	建物の熱負荷抑制	3.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	2.5	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.8	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				68.7	0.20	13.74
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				82.5	0.20	16.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				78.7	0.20	15.74
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	4.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数